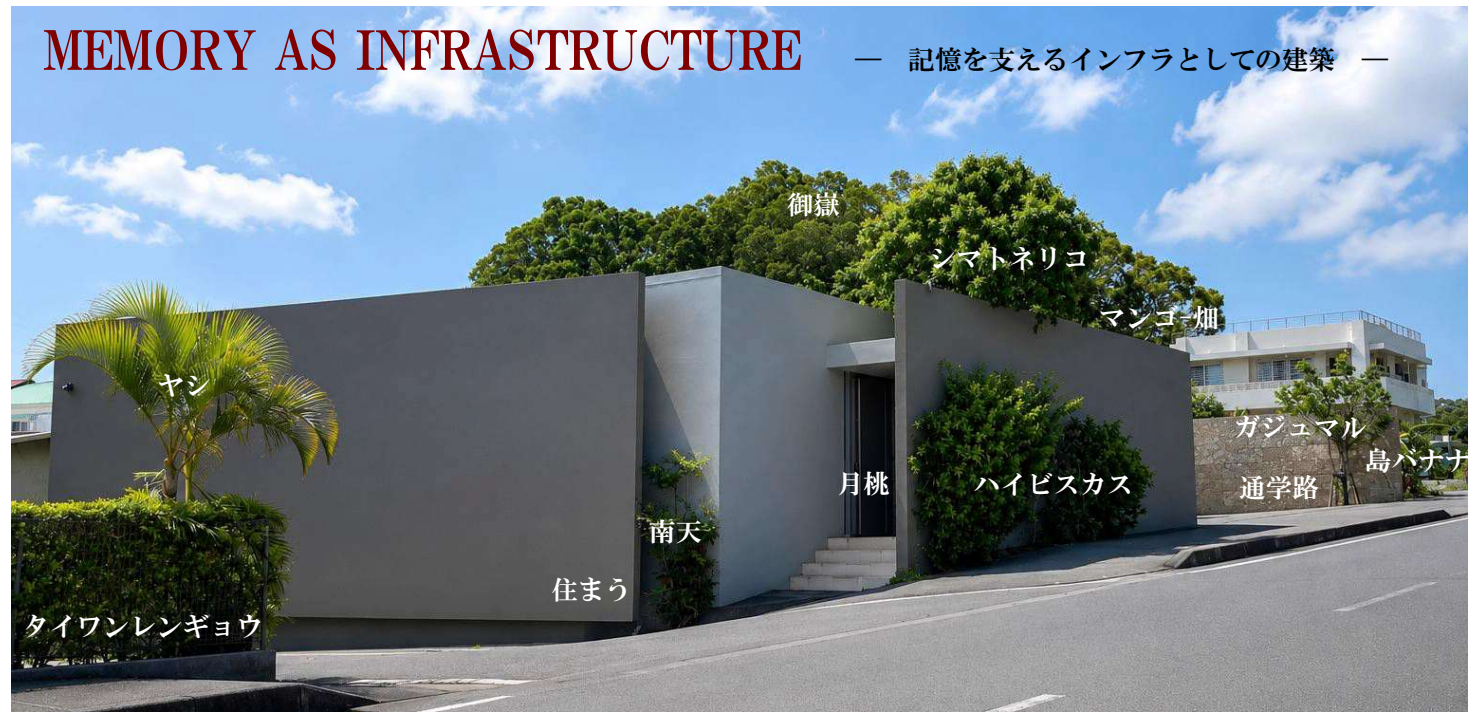


MEMORY AS INFRASTRUCTURE

— 記憶を支えるインフラとしての建築 —



時間の積層は、記憶を支えるインフラである。

住宅は時間を生き、地域との関わりによって意味を持つ。「住まいをひらき、地域をつなぎ、記憶を継承する」



FROM MEMORY TO THE WORLD

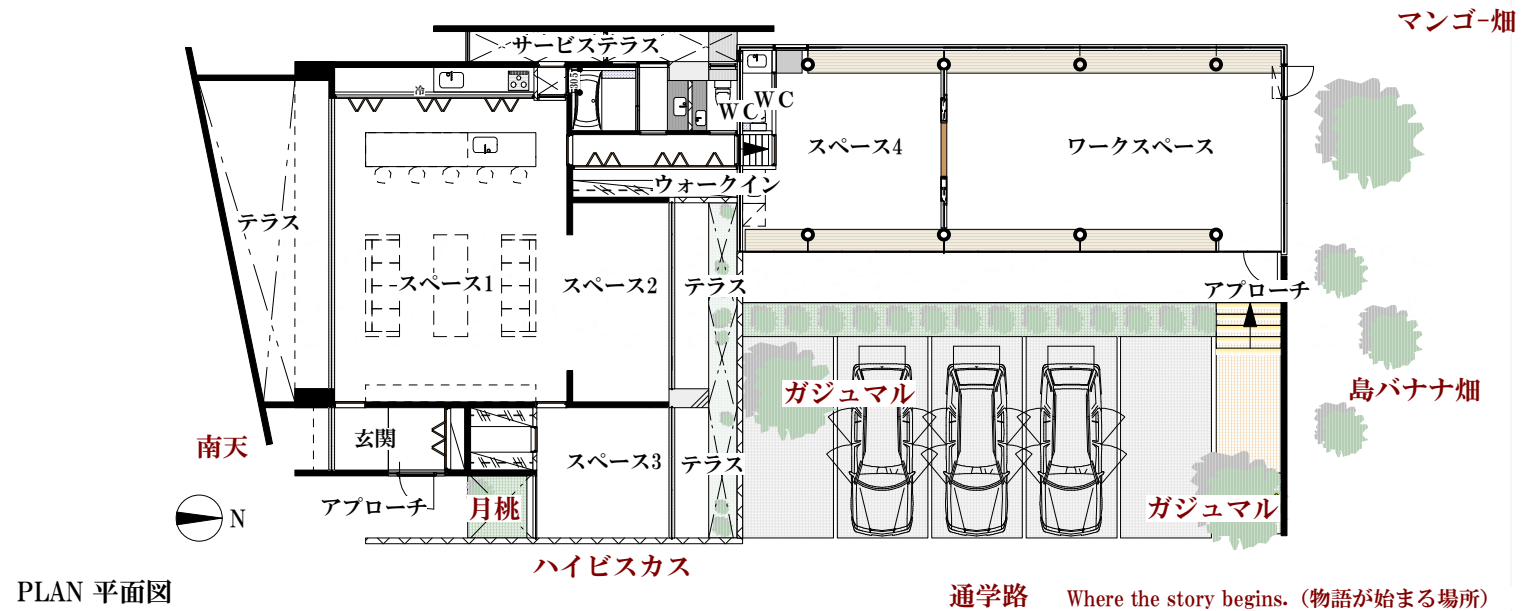
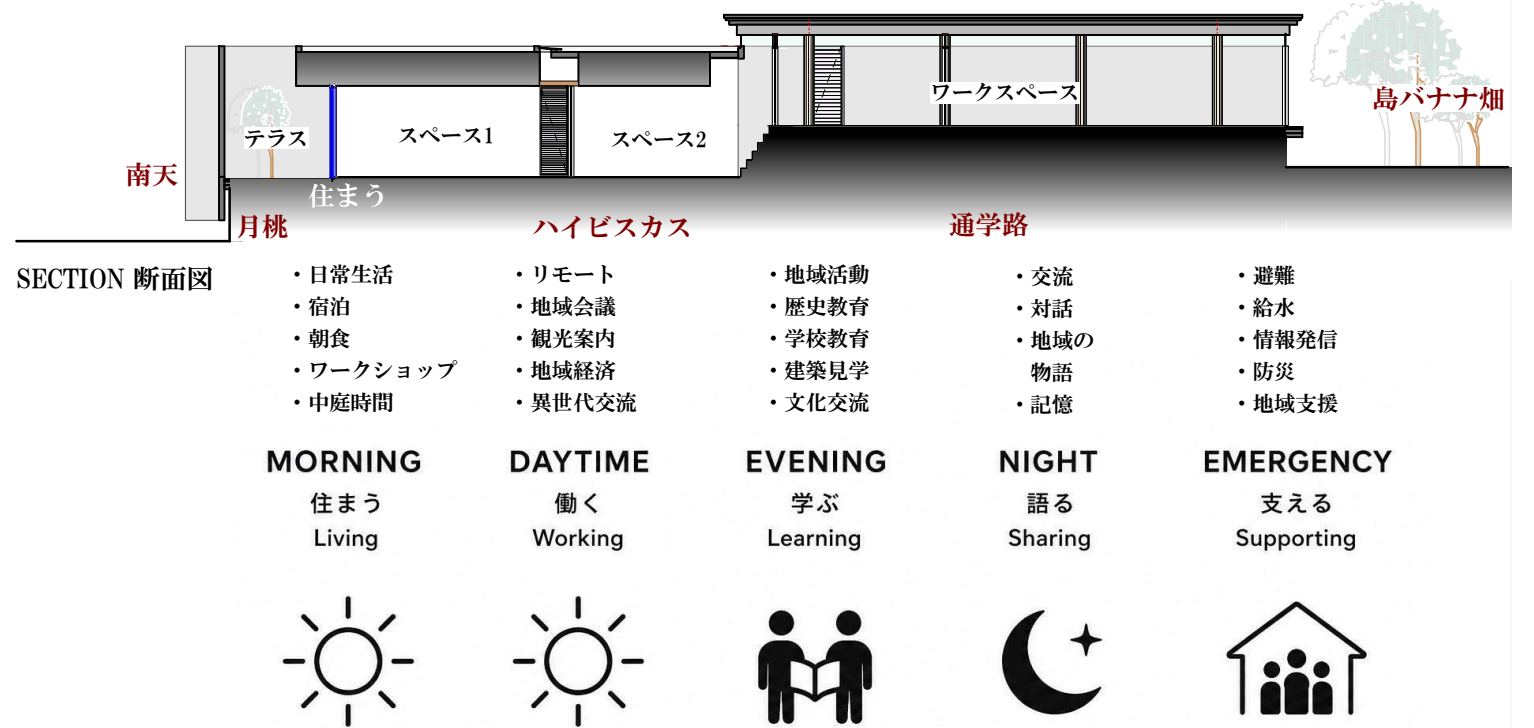
記憶から世界へ

01 見る	02 触れる	03 感じる	04 考える	05 共有する	06記憶を掘り起こす
建築は、 見ることから始まる	素材を感じる 空間を体感する	体験は記憶を生む	地域を知る 空間を楽しむ	共有された記憶が 地域をつくる	子どもたちが 記憶を受け継ぐ
身体性	感受性	思考力	創造性	共感性	未来への責任
「一つの住宅から地域へ、地域から世界へ」			「記憶を支えるインフラ」		

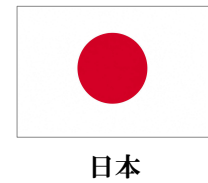
PROGRAM THROUGH GENERATIONS

世代・時間によって変化するプログラム

マンゴー畑



07 一つの住宅が地域をつなぐ
MEISEI UNIVERSITY LECTURE 明星大学 講義
若者と未来を育てる



日本

Where everyday life becomes culture.

「 日常が文化へ変わる場所。」

08 地域の記憶は世界の価値になる
建築は、人・地域・世代とともに成長し続ける。
世界7か国から訪れた人々



イギリス



カナダ



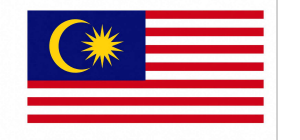
アメリカ



中国



タイ



マレーシア

Future Visitors' MemoryWhere memory becomes everyone's future.

「 記憶が、みんなの未来になる場所。」